

## 「自治会ブロック対抗スポーツ大会」 廣光 梅子（拜島第一小地区・7期目）

2月4日、毎年恒例となっている自治会連合会ブロック対抗スポーツ大会が、総合スポーツセンターで開催されました。今年もインドアペタタンクでした。とても寒い日でしたが、28チーム128人の参加があり、どのチームも熱気に満ち溢れていました。親睦を深め、楽しく体を動かすのが目的の自治会対抗スポーツ大会ではありますが、みなさん真剣にプレーしていました。レベルも回を重ねる毎に、高くなっていくようでした。成績は



1位と2位、3位と4位は同点で、得失点の差で決まりました。競技をする人、応援をする人、共にルールが守られて、さすが熟年の方々だとうれしくなりました。

この大会に先立ち、2回の練習日を設けましたが、2回とも参加者が多くペタタンクに対するみなさんの意気込みが、とても感じられました。中にはマイメジャーを持ってきて距離を測る人もいました。

このインドアペタタンクは、ルールも簡単で、老若男女、子どもや障がいのある方など、誰にでも無理なく楽しくできるスポーツです。チームで作戦を練り、考えながらうまくいった時など、満面の笑みが見られます。ということ、近年このインドアペタタンクに興味を持つ人が増えてきたように思います。とても素晴らしいことではないでしょうか。

インドアペタタンクを楽しむ人が、ますます増えるように、私たちスポーツ推進委員も頑張りたいと思います。

## 「第63回昭島市新春駅伝競走大会」 宮本 孝之（つつじが丘小地区・★期目）

新春恒例の昭島市新春駅伝競走大会が、絶好のコンディションのなか開催されました。出場チーム数206、出場者数1689という盛大な大会となりました。

1周4350メートルの周回コースを、一般1部は1人1周で5人により継走し、その他の部は2人で1周し、計6人により継走する競技となります。中学生以上であれば、チームを編成して気軽に参加できることもあり、毎年参加者が増えています。

近年は、タスキに電子チップを内蔵するようになり、より正確な記録が計測されるようになりました。

選手もバラエティに富んでいて、最高記録を目指して全力で疾走する方から、コスプレをしながら愉快に走る方まで様々です。沿道の応援の方々も大きな声で、「頑張れ！」「ファイト！」と各選手の走りを後押し

します。その声を受けて選手の皆さんも更に加速する姿をいたるところで目にしました。選手と応援の方々が一体になる瞬間で、スポーツの良さが実感されます。選手間のチームワークも素晴らしく、中継地点ではタスキを受ける選手が前走者へ声援を送ります。前走者はラストスパートをかけ、タスキをリレーした達成感に満ちた顔、継走者は次の選手へ少しでも早くリレーすべく駆け出し、勇ましい顔を見せてくれます。自然と沿道からも大きな声援が沸き起こります。そして、各チームゴールを迎えるとなんとも言えない安堵感と達成感に満ちた笑顔が溢れていました。

選手の皆さん、お疲れ様でした。そして感動をありがとうございました。

